

委員会報告書

委員会名	平成28年度第4回生産技術委員会
開催日時	平成28年11月4日(金) 14:30~18:00
開催場所	秋田大学 手形キャンパス 国際資源学部理工学部2号館3階 製図室
出席者 (敬称略)	安楽委員長、倉本副委員長、墓目、古座野、三浦、住廣、村井、大内、藤井、兒玉(運営幹事)、田代(運営幹事) 以上26名中11名
議事	<p>1. 委員交代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JX石油開発(株) 墓目 忠 様 (濱本委員と交代) ・ JX石油開発(株) 日比 隆太郎 様 (渡辺委員と交代) ・ 秋田大学 阿部 一徳 様 (11/5以降、藤井委員と交代) <p>2. 幹事会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石油鉱業連盟から依頼のあった資源評価レポート作成について石油技術協会として協力していくことで合意した。 ・ 協会運営検討ワーキンググループのサブワーキンググループとして会誌デジタル化推進サブワーキンググループが設置された。会誌デジタル化費用等の各種情報を収集中である。会誌デジタル化には1年半位の期間を見込む必要がある。 ・ 石油鉱業連盟との業務受託契約に基づく平成29年度の委託料について、人件費および事務所管理費の新たな負担要求が石油鉱業連盟よりあった。 <p>3. 理事会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記の通り、協会誌デジタル化及び石油鉱業連盟との業務受託契約に基づく平成29年度の委託料の負担について検討が継続中。 <p>4. シンポジウム原稿の査読状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全12件中の査読が完了 ・ 10/31(月)編集委員会にて10件が受理され、残る2件は編集委員会預かりとなった。 <p>5. 平成29年度春季講演会シンポジウムテーマについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【不確実性およびリスク評価】をキーワードとして関連する講演題材があるかどうか各社で調査したところ、5社より11件の題材案が挙げられた。各大学からは回答待ち。 ・ 例年に比較して題材案が少ないことから、テーマを【不確実性およびリスク評価】に絞らず、再度各社・各大学にて講演会可能な題材案があるかどうか調査することとなった。 ・ 主な議論の内容は下記の通り <ul style="list-style-type: none"> ➢ 題材案は11件あるが、ほぼ確実に講演可能であろうものは2件程度しかなく、不確実性が高い。 ➢ (INPEX 殿の仲介により)テキサス大学の教授より講演をして貰える可能性があることが分かった。その場合、謝礼は記念品程度となる見込。2017年3月までにスケジュールを確認し可否を確定したい。 ➢ 探鉱技術委員会においても【不確実性およびリスク評価】を

平成 29 年度シンポジウムのキーワードとしていることが分かった。場合によっては生産技術委員会との合同開催も含めて相談したい。

6. 平成 29 年度春季講演会見学会について

- ・ 小委員会で石油業界に関わりの深い企業が多い千葉ルート、および石油業界に関わりの薄い企業が多い神奈川ルートに絞り意見を募った。
- ・ 神奈川ルートを推す声が多く、こちらを第一候補とした。次回委員会までに各候補企業へコンタクトを取り、感触を確かめた上でルートを更に絞ることとなった。

7. 次回委員会開催場所について

- ・ 第 5 回：平成 28 年 12 月 2 日（金） 14:30～ 東北大学
- ・ 第 6 回：平成 29 年 1 月 12 日（木） 14:30～ 三井石油開発(株)
- ・ 第 7 回：平成 29 年 3 月 2 日（木） 15:30～ 石油資源開発(株)

8. 話題提供

・ 大学からの研究紹介

- ✓ 「西蒲原水溶性天然ガス田における 数値モデルを用いた地盤沈下挙動解析」(安養寺 友彦さん、修士 2 年、エネルギー資源工学研究室)
- ✓ 「C 県 N 地区の水溶性天然ガス田の数値モデルの作成」(土屋 健さん、修士 1 年、エネルギー資源工学研究室)
- ✓ 「砂岩コアを用いた貯留層条件下における相対浸透率測定」(七尾 純平さん、修士 1 年、エネルギー資源工学研究室)

・ 生産技術委員による活動紹介

- ✓ 我が国の 石油・天然ガス開発業界の活動紹介 (安楽委員長、他生産技術委員より 9 件)

※大学側より約 30 名が参加

以上